

令和7年7月8日

令和7年度大豆生育定期調査結果 No.1 (北上市 7月4日現在)

岩手県農業研究センター 生産基盤研究部 水田利用研究室 (TEL:0197-68-4412、FAX:0197-71-1081)

1 生育概況 (表1、図1)

(1) 出芽

播種後、降雨が少なく出芽はややバラついたものの、出芽日数 (播種から出芽期までの日数) は、6月5日播種のリュウホウ及びシュウリュウとも概ね平年並であった。また、6月19日播種のリュウホウは出芽日数6日間と前年より2日早かった。

(2) 生育

播種後は、高温で経過したため平年より旺盛な生育となり、両品種とも主茎長は長く (+4.3~4.8cm)、主茎節数は多い (+0.8~1.0節)。さらに、地上部乾物重は、平年比178~197%と平年を大きく上回っている。

表1 生育調査結果 (7月4日現在)

品種	年次	出芽 日数 (日)	草丈 (cm)	主茎 長 (cm)	主茎 節数 (節)	地上部 乾物重 (g/m ²)
リュウホウ (6/5播種)	R7年	7	32.0	16.3	6.8	23.2
	平年	8	23.6	11.5	5.8	11.8
	平年差・比	-1	+8.4	+4.8	+1.0	197%
	前年	9	21.7	10.9	4.8	9.1
シュウリュウ (6/5播種)	R7年	7	34.3	16.0	6.5	26.1
	平年	8	26.5	11.7	5.7	14.7
	平年差・比	-1	+7.8	+4.3	+0.8	178%
	前年	9	22.9	10.5	4.7	11.0
(参考)	R7年	6	-	-	-	-
リュウホウ	前年	8	-	-	-	-
(6/19播種)	前年差・比	-2	-	-	-	-

※1:「平年」は令和2~5年の平均値。

※2:リュウホウ (6月19日播種) はR6、7の2か年のみ実施。



図1 各品種の生育状況 (7月7日撮影)

左:リュウホウ (6/5播種)、右:シュウリュウ (6/5播種)

2 気象経過（6月～7月第1半旬；図2）

気温は平年より高く、降水量は平年より少なく経過した。

※ここでの「平年」は、過去5か年平均（令和2～6年）を示す。

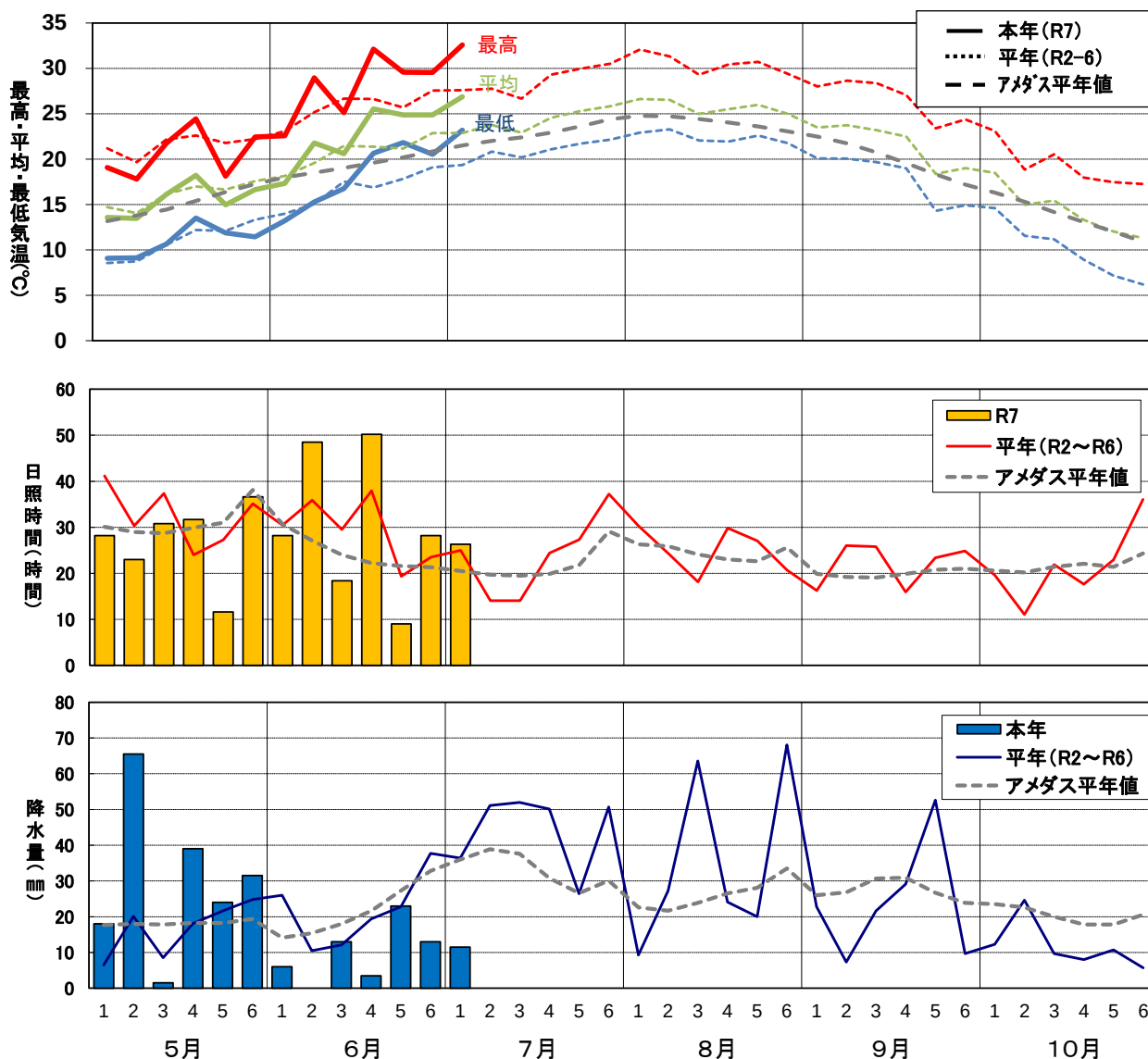


図2 気象経過図（アメダス北上）

※1：「平年」は令和2～6年の5か年の平均値。

※2：「アメダス平年値」は気象庁公表の平成3年～令和2年の30年平均。

3 耕種概要

- (1) 調査場所：農業研究センター圃場（北上市成田、標高90m、淡色多湿黒ボク土（水田転換2年目））
- (2) 播種日： 6月5日（リュウホウおよびシュウリュウ）、6月19日（リュウホウのみ）
- (3) 栽植密度 6月5日播種：9.5株/m²（畦間70cm、株間15cm、1株1本仕立て）
6月19日播種：14.3株/m²（畦間70cm、株間10cm、1株1本仕立て）
- (4) 施肥量（kg/10a）：N 4、P₂O₅ 12、K₂O 10、牛糞堆肥1t/10a
- (5) 雑草防除：エコトップP乳剤 600mL/10a（播種後出芽前）
- (6) 病害虫防除：クルーザーMAXX 8mL/乾燥種子1kg（播種前塗沫処理）